

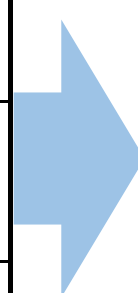
令和元年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (まつもと園) 作成日時 (令和元 年 9月 10 日)

代表	施設長	本部
印		

H30年度 改善への取り組み	緊急時、防犯感染症マニュアルを見直し配布する。/訓練の実施/職員向けマニュアル、支援内容、記録方法の見直し/フレームワークの導入/P D C Aサイクルの実施/解りやすい案内、表示、配布、整理整頓/スタッフ研修、現場でのフォロー/関わる人全員に対して根拠を分かりやすく提示、配布していく。
今年度の施設目標	・個別の障がい特性に合わせた環境作りをします。・自立につながる放課後支援を提供します。・日々の支援内容を分かりやすく発信します。

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースに限りがある 人員配置、専門性は適切である 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーの観点から見ると、階段は、構造の問題上、改善が難しい。(手すりは取り付け済み) 玄関に車いす用スロープを利用の都度設置し、車いす対応をしている。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善のためのP D C Aサイクル、及び、職員の資質向上のための研修に、職員が積極的に参画している 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭で保護者からの伝言が職員間で周知されていないことがある指摘があった
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと保護者のニーズに沿って放課後等サービス計画が作成されている。 放課後児童クラブや、児童館との交流や、障がいの無い子供との交流ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムが固定化しないように工夫しているが、活動プログラムの意義、個別化、内容の周知が浸透できていない。(ルーチン化を目的とするところもあり、固定化の概念が難しく思う)
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校と連携を取り、支援に反映している 面談や、育児に対する助言等の支援ができています 日頃から子どもの状況を伝え合うことができ、共通理解ができています 保護者同士の交流の場の提供ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向け勉強会や、意見交換会があるといった意見があった。 支援内容の変更を前もって保護者に知らせてほしいとの意見があった。
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> 重要事項、利用者負担の丁寧な説明はできている 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情対応のシステムの整備、周知が不足
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの配布、訓練の報告、周知ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの整備、周知不足。 月のお便り、ブログにも訓練は載せているが、伝わっていない→回数の見直し要?



分析検討してみたの事業所の強み	分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> 個別の対応ができています 子どもの表出や、成長を実感、共感できる ニーズや、課題のレベルの把握が、学校、保護者とできて、保護者の方の安心につながってきています 職員が真剣に、前向きに利用児の課題に向き合っている 専門職の外部コンサルタントや、研修を積極的に取り入れ、確実に現場にフィードバックしている 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練等、年間計画、配布が必要 災害関連の連絡方法等、マニュアルの配布が必要 苦情対応の周知が必要 児童館、児童クラブ等、障がいの無い児童との活動機会について検討する(希望を聞くことから始める)

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズに寄り添えるよう、面談を通して、本児の良いところだけではなく、苦手な部分も前向きに、話し合える関係を築く 防災、緊急時、苦情対応マニュアルの配布 災害時緊急お迎えについて個別支援計画に記載する COCOメールの利用(緊急時連絡等に使う。2019.10始動予定) 活動プログラムの説明、案内(実際の様子を写真や動画で伝える等)の整備(面談時) 職員間の当日連絡事項(保護者からの伝達事項、連絡帳コメント欄チェック)の周知については、出席簿に記入のうえ、必ず職員は目を通す。

自己評価を行っての事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に比べ、評価が良くなってきていることを感じる反面、まだ、根拠を伝えることの技量不足を感じる。 合理的配慮を念頭に置き、保護者の方とのコミュニケーション力、信頼関係をより深くしていく必要を感じた。 防災関連は、緊急メール、個別支援計画への記載、2019.12までに完了できるようにしたい。

来年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の障がい特性に合わせた環境作りをします。 ・合理的配慮を念頭に置き、利用児、保護者に寄り添い、明確な支援をしていきます。
----------	--